

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夙川Lucy教室		
○保護者評価実施期間	2025年12月20日 ~ 2026年2月25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 27名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間	2025年12月20日 ~ 年月日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 18名	(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	* 公認心理師・臨床(発達)心理士、言語聴覚師、理学療法士、西宮市教育委員会連携保育士等専門性の高いセラピストとの多職種連携により、一律的な見解でなく個々の児童に合った療育プログラムを提供する。* 発語やコミュニケーションに課題が多い児童に対して、言語聴覚師、公認心理士、臨床(発達)心理士との連携により成長が育まれている。	能動的に児童を遊ばせ、専門性の高いセラピストにより絶えず能動的に能動的に接触することにより、トライ&エラーを体感児童の自己肯定感を育む。* 神戸教育短期大学こども学科教授 中塚志摩先生のスーパーヴァイザーにより、困った事例(癇癪、パニックなど)に対して定期的にセミナーや保育所等訪問支援先とでCase Conferenceを実施している。	* 父母の会や保護者会企画を4月頃に開催予定。 * ペアレントトレーニングについては、保護者ニーズについて再調査する
2	自閉症児(脳機能を学んだ)の為にKidsYogaやウエルビ体操を学んだ保育士により、マットや平均台、などの体感強化の運動を取り入れている。 * 随時、児童の興味のあるmたりクエストに方得られる、微細運動強化となる「ART」工作」の時間を提供出来る。	* 児童と支援者の発想で適宜、サーキットの内容を適宜演出する。	* 小学校教諭歴30年以上(普通級、支援級)の低学年担任の経験者により適格な助言を推進していく。
3	* 集中力が保持することが困難な(約15分~約20分)な児童や多動脳な児童に対しても単調な個別で終わることなく、個々の児童のコンディションに合わせて、多機能な豊富なプログラムを展開している。	* 多動脳である児童(衝動性)の強い児童への対応について職員一同でケアを共有している	* オペレーション(児童を惹きつける技術)が可能な支援者の育成強化・ * 衝動性の高い多動脳の児童や、頻回に起こるパニック障害(急性ジストニア)が起こる児童に対して

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	* 児童の療育時間の平均が3時間以上と長く。児童の集中力維持と職員のモチベーション維持と体力と精神力維持が難しい。	* 保護者の大半が就業されている方々が多く、必然的に長い時間の「療育」を求められる。 * インターチャネルスクールや保育所等で退園を狭った多動脳の児童が多く、行き場を失った児童の発達特性の理解と是正、保護者のニーズを高めるために、必然的に受入ざる終えない。	* セラピストの多くが大学、専門学校、主婦、西宮市教育委員会所属の兼業の非常勤の勤務者が多い。優秀で専門性の高い方を雇用しているが、勤務シフトが副業となっているので、カリキュラムの曜日、時間帯が固定化がしにくい。
2	* 事業所のスペースに限りがあり、集団(小集団)、個別に未就園時、就学前の多人数の児童の療育空間が狭くなる。	* 保護者主体の希望利用時間を優先している。* 有能なセラピスト雇用による「療育」の提供を展開しているが、非常勤職員が多く、カリキュラムの確率化が難しい。	* 今後、放課後デイの開業を視野にII号店の出店にスペース確保の考えを競うする。
3			